

令和 2年 5月13日

山元町長 齋 藤 俊 夫 様

# 要 望 書

山元町議会

議長 岩 佐 哲 也

## 新型コロナウイルス感染症対策に関する要望について

新型コロナウイルス感染症が世界各地に拡大しています。全国に緊急事態宣言も発出され、事態の収束が未だ見えない中、山元町においても感染者が確認され、未だ予断を許さない状況です。

日々刻々と変わる状況において、まさに国難とでも言うべき事態の中にあって、町民生活はもとより、町内経済が疲弊していくことへの不安や切実な要望の声が、町民から寄せられています。

町では、町対策本部を設置し、困難な対応に尽力いただいているところでありますが、この新型コロナウイルスは、これまでに例を見ない事例となる大感染であるとの考えのもとで、町民の要望に、より耳を傾け、迅速かつ柔軟な対策を講じることが急務となります。

町議会としても、数度の全員協議会において検討を重ね、感染拡大防止等について、町対策本部と連携し対応することと全議員、一致のもと決定しております。

今後は、この要望書をもとに、各常任委員会で要望項目の進行管理と、要望、意見等の追加をしながら適時適切な政策提案をし、実現に向け、執行部、町民の皆さまとともに、この難局に対応してまいりたいと考えています。

つきましては、町民の安全・安心を最優先に、町民生活の安定と町内経済の安定持続が図られ、町民の不安が一日も早く解消するよう、下記事項について、緊急性が高い施策の速やかかつ積極的な対策・対応を講じられるよう強く要望いたします。

### 記

#### 1 町民への支援策（感染拡大防止対策の強化・徹底）について

新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報を収集し、町民に対して積極的に情報発信し、広く情報共有を図ることを徹底されたい。

また、町民の感染予防の強化を図るため、町内において入手困難となっているマスクや消毒液等について、先を見据えた継続的かつ安定的な確保に努め、全世帯はもとより、教育関係機関、及び介護施設などへ広く町内一円に支援を図られたい。

#### 2 高齢者への支援策について

介護施設では、一旦感染者ができれば、急速に拡大する危険があるため、介護事業所の感染防止に最善を尽くすとともに、集いの場・憩いの場などへの参加自粛を余儀なくされている高齢者や一人暮らしの高齢者に対する安全・安心な見守りや傾聴体制の整備等をはじめ手厚い支援を図られたい。

### 3 子どもと教育への支援策について

長期休業により家庭学習が主となり、学力低下や教育格差の拡大が危惧されるため、個々の学習達成状況の把握に努めるとともに、長期休業に伴う学習の遅れは、現在行っている家庭学習のみで補えるものではなく、夏休みの短縮や土曜授業などの検討が必要と考えられるため、学校再開後に円滑に軌道修正が図られるよう早急に研究されたい。

また、本町においても奨学金貸付制度により就学に対する支援がなされているが、急激な経済の後退で休業・失業により学費や生活費が捻出できず困っている世帯に対し、保護者の休業補償をはじめ、返還金減免や返還期間猶予などについて検討されるとともに、就学のために本町から離れて生活する学生に対しても、給付等による支援の検討を図られたい。

### 4 個人事業者や中小企業事業者への支援策について

事業活動に深刻な影響を受けている事業者に対して、事業の継続を下支えし、再起の糧としていただけるための給付金等の支給拡充など、町独自の支援策を早急に図られたい。

また、感染拡大防止と経済活動の再開との両立を進めていくためにも、早急な景気の回復に向けた消費拡大に取り組むための町独自の支援策についても検討を図られたい。

### 5 支援策に係る財源確保並びに基金活用について

国の補正予算により臨時交付金が交付される見込みであるが、国、及び県の動向を見定めながら町の実情に応じた実効性のある利活用計画の早期策定に努められ、速やかな効果的活用に努めるとともに、本交付金のみならず活用可能な交付金等の研究をされ、国、及び県からの財政支援をさらに要望されたい。

また、世界規模の危機的状況であることを鑑み、町民や事業者支援のために前例に囚われない大胆な施策の検討、並びに財政調整基金等の投入による補正予算編成をされたい。

以上